

**全東京写真連盟**  
**撮影会写真コンクール**  
**入賞作品集**



審査対象 川越水上公園水着モデル撮影会  
撮影日 2019 年9月16日

審査日時 2019年11月8日  
審査員：HARUKI先生



金 賞  
「回想」  
中牟田 剛 様  
モデル 三木桃子

**審査員：HARUKI先生 講 評**

この日の撮影会は肌寒かったこともあり、上位入賞作品は偶然にも3点ともサマーベッドに絡む写真となりました。金賞の「回想」は清楚な感じの美しいモデルさんの憂いを秘めた表情を的確に捉えています。タイトルのように何かを想いだしているかのような表情も自然です。曇天での撮影条件のデメリットとしては陰影がなくなることですが、それは言い換えればメリットとして女性の肌などのトーンが落ち着いて表現出来ることですがまさに優位に使われており、シットリとした優しい仕上がりとなりました。曇天でのもうひとつのデメリットは空がホワイトアウトになってしまうのですが、ローアングルから背景の緑をうまくボカして入れた構図が功を奏しました。



銀 賞  
「寝転んで」  
石川 玲 様  
モデル 及川エミ

**審査員：HARUKI先生 講 評**

金賞作品と同じくサマーベッド上でのシーンですが先ほどの作品とは逆に元気潑刺そうなモデルさんを斜め上からのアングルで撮影されています。ピンク色を基調とした水着で起き上がったポーズで顔位置と腕のバランスが良くて後方へ延びたモデルさんの脚の子どもっぽい動きでかわいい感じに仕上がっています。画面いっぱいにモデルさんを斜めに配置した対角線構図も上手く利用されています。



銅 賞  
「1 ページ」  
小幡大輔 様  
モデル 七海 青

**審査員：HARUKI先生 講 評**

曇天の空の下。望遠レンズの圧縮効果で木々が実際より多く林のように迫る背景にして、主役である肉感的なモデルさんが浮き立つ立体的な作品になりました。カリッと  
したレンズなのでやや絞るとなめらかな描写になります。それと手前からのレフ板効果  
がやや強いのでしょうか、もう少しおさえ気味の光線だと背景とのバランスが良く  
て違和感ない仕上がりになったかと思われます。手足の先は画面に収めるようにした  
ほうが良いでしょう。



入 選  
「そっと」  
臼杵辰郎 様  
モデル 羽原なおこ



入 選  
「グッドプロポーション」  
木下仁志 様  
モデル 笹森陽菜





入 選  
「振り向いて」  
中山静男 様  
モデル 夏山りか



入 選  
「胸の高鳴り」  
中山昌幸 様  
モデル 及川エミ



入 選  
「瞳のアンフィニ」  
門間正之 様  
モデル 三木桃子



佳 作  
「スライダーの前で」  
河村徳助 様  
モデル 月寒うさぎ



佳 作  
「目がキレイ」  
斉藤貴生 様  
モデル 笹森陽菜



佳 作  
「焦心」  
高橋敏之 様  
モデル Aya





佳 作  
「水着のERIKO」  
滝本憲一郎 様  
モデル ERIKO



佳 作  
「夏の思い出」  
田中直久 様  
モデル 三木桃子



佳 作  
「すべり台の上で」  
堤 博史 様  
モデル 夏山りか



佳 作  
「パーフェクト」  
堀内康志 様  
モデル 羽原なおこ



佳 作  
「レースクィーンの肖像」  
松岡達雄 様  
モデル 笹森陽菜



佳 作  
「ベンチで」  
湯原章綱 様  
モデル 及川エミ



佳 作  
「夢うつつ」  
横塚英夫 様  
モデル 三木桃子



次 点  
「白い船の前で」  
新井 潔 様  
モデル 羽原なおこ





次 点  
「時止まる」  
大槻 巖 様  
モデル 夏山りか



次 点  
「プライベート・タイム」  
大村勇二 様  
モデル 笹森陽菜



次 点  
「あの夏の日」  
佐土原光司 様  
モデル 羽原なおこ



次 点  
「バックに船」  
谷川 朗 様  
モデル 羽原なおこ



次 点  
「プールサイドで」  
豊田光司 様  
モデル 羽原なおこ



次 点  
「想い」  
内藤勝之 様  
モデル 羽原なおこ





次 点  
「アールの世界」  
長沢敏夫 様  
モデル 夏山りか



次 点  
「夏の終わりに」  
深野武雄 様  
モデル 笹森陽菜





次 点  
「シックに決めて」  
藤本健介 様  
モデル 月寒うさぎ

## 総評

今回は二つとも水着撮影会での審査となりましたが、曇天と晴天と真逆の天候だったようですがいずれにしても言えることはどのような光線下でモデルさんをどう配置するか？ どのように演じて（ポーズや表情など）もらうのかを限られた条件内でいかに具現化するかが写真の善し悪しを決めるポイントになります。それをご自分の中で意識しながらレフ板やライティング、レンズと絞りなどをチョイスしていきましょう。

2019年11月28日

H A R U K I